

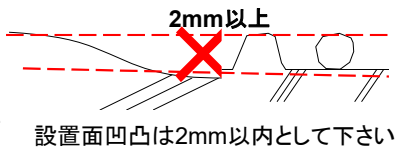
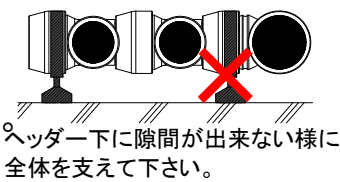
BRIDGESTONE プッシュマスター樹脂ヘッダー取扱説明書

プッシュマスター樹脂ヘッダーは下記の施工方法にて固定して下さい。

NJ樹脂ヘッダーは樹脂製のため、極度の曲げ荷重により破損する可能性があります。そこで、樹脂ヘッダーを設置の際はカタログ記載の専用架台を使用頂くか、以下の方法にて設置して下さい。

固定時注意点

- ・樹脂ヘッダー全体を下から支える構造で固定下さい。
- ・設置基盤は200kg荷重でタワミ4mm以内として下さい。
- ・設置面表面の凹凸は2mm以内として下さい。



* 高さ調整を行う際も上記注意点を遵守下さい。高さ調整用支持基盤は、鉄板・12mm厚以上の合板・樹脂板(可塑剤を含まないもの)

樹脂ヘッダー固定部材推奨スペックと推奨品

		裸樹脂ヘッダー			保温付樹脂ヘッダー	
固定部材	必要部材	両サドルバン ^{*1}	緩衝材	保護シート	両サドルバンド ^{*1}	
	写真					
	サイズ	φ49(40A相当)	10mm厚	10mm厚	φ49(40A相当)	
		幅21mm以下	幅15～20mm ^{*2}	幅30～40mm	幅21mm以下	
			長さ50mm ^{*2}	樹脂ヘッダー長さ以上		
	材質	金属	発泡PP	保温材・木材・金属	金属	
推奨品	メーカー	(株)アカギ	東レペフ(株)	東レペフ(株)	(株)アカギ	^{*1} : サドルバンド固定位置については裏面を参照下さい。 ^{*2} : 緩衝材の幅、長さは使用するバンドサイズに合わせて下さい。 ^{*3} : 半円に切って頂くとサイズが合います。 ^{*4} : 1/4に切って頂くとサイズが合います。
	品名	ステンサドル	パイプカバー	パイプカバー	ステンサドル	
	サイズ	40A	25A	25A	40A	
	品番	A10452	P(裸タイプ)	P(裸タイプ)	A10452	
	サイズ名	0074	25 ^{*3}	25 ^{*4}	0074	

各種樹脂ヘッダーごとの固定方法

保温なし樹脂ヘッダー

使用部材: 樹脂ヘッダー・両サドルバンド・緩衝材・保護シート

施工手順:

①市販の保温材を所定サイズにし緩衝材・保護シートを作成する。

②バンドと樹脂ヘッダーの間に緩衝材を挟む。

③墨だしをし、下穴を開ける。

④保護シートを置く。

* ヘッダーより長いシートを用意下さい。

⑤保護シートに樹脂ヘッダーを乗せバンドをビスで固定する。

⑥パイプを差込み、同梱された施工完了チラシを貼付ける。

保温付樹脂ヘッダー

樹脂ヘッダー(保温付)・両サドルバンド

施工手順:

①墨だしをし、下穴を開ける。

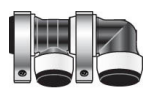
②樹脂ヘッダーをバンドでビス固定する。

③パイプを差込み、同梱された施工完了チラシを貼付ける。

(裏面もご覧下さい⇒)

【各分岐口数でのサドルバンド固定位置】

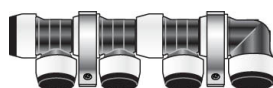
2点固定



分岐 2 口



分岐 3 口



分岐 4 口



分岐 5 口

3点固定



分岐 6 口



分岐 8 口



分岐 7 口



分岐 9 口

4点固定



分岐10口



分岐11口

施工上の注意

- (1)バンドでの固定は、両端の分岐口内側と、4ピッチ以内に1箇所の固定をお願いします。
- (2)高さ調整を行う場合は、表に記載された条件に見合った設置基盤を選定してください。
- (3)固定時にバンドエッジが樹脂ヘッダーのキャップおよび透明カバーに接しないよう注意して下さい。エッジによる樹脂ヘッダー損傷の危険性があります。
- (4)樹脂ヘッダー設置完了後に施工完了チラシを樹脂ヘッダーに貼付け、チラシは全工程完了後に剥がして下さい。施工完了チラシを貼付ける際は、ヘッダー及びパイプにテープを貼らないで下さい。テープの粘着成分により樹脂が劣化する危険性があります。
- (5)樹脂ヘッダーに乗ること、蹴ること、重量物の積載などは避けて下さい。樹脂ヘッダーの施工後に、踏まれたり重量物が置かれたりする等の可能性がある場合は、現場管理者と相談の上、十分な注意喚起と養生の実施をお願いします。
- (6)樹脂ヘッダー設置範囲の下地面は、不陸が±2mm以内であることを厳守願います。不陸が大きい場合は、設置位置を変更するか不陸の修正を行って下さい。(不陸が大きい箇所での無理な固定は、樹脂ヘッダーの振動・脱落・損傷等の原因となる可能性があります。)
- (7)樹脂ヘッダーの下地への直固定や、樹脂ヘッダーを設置基盤なしで浮かせて設置する事は避けて下さい。
- (8)樹脂ヘッダーの固定は必ず、パイプ接続前に実施してください。樹脂ヘッダーの固定前にパイプを接続すると、固定時にパイプを傷つける危険性があります。
- (9)異物侵入防止のため樹脂ヘッダーのパイプ接続口に取り付けられた防塵キャップはパイプ接続直前まで外さないで下さい。
- (10)パイプ接続完了後、必ず水圧又は気密試験を実施し、接続各部に漏れがないか、必ず目視確認を行って下さい。
- (11)ビスの下穴加工やビス固定の際は、樹脂ヘッダーに傷をつけない様、ご注意願います。
- (12)樹脂ヘッダーに防蟻剤や防腐剤等の薬品が掛からない様ご注意願います。付着により劣化、損傷する可能性があります。
- (13)プッシュマスター樹脂ヘッダーには、プッシュロックⅡの樹脂ヘッダー部材や継手類は接続出来ません。必ず、プッシュマスター製品のみを使用して下さい。
- (14)樹脂ヘッダーへのパイプ接続に際しては、カタログに記載する『パイプ接続手順及び注意』、『施工及び保管上の注意』に従って作業を行ってください。

株式会社ブリヂストン

HP : <https://www.bridgestone.co.jp/products/dp/pushmaster/index.html>